

## 凡 例

### 構成

- 一 原則として解説文は原資料よりも小さい字を用いて区別した。
- 二 手書き原資料はほとんどの場合、段落の第一行目は一字下がっていないが、本書では読みやすさを考慮して一字下げた。ただし段落全体が一字下がりの場合はその限りではない。
- 三 原資料中、番号が付された箇条書は原資料自体の表記のいかんにかかわらず、番号とそれに続く文字との間を一字あけた。

### 文字

- 一 原資料の漢字は原資料どおり旧字体を使用した。原資料が手書きの場合、当時の印刷物で通常用いられたと考えられる活字（旧字体）を基本としたが、旧字体で書かれている漢字のみ旧字体を使用した資料もある。手書き原資料の末尾には「手書き」と注記した。
- 二 原資料中の変体仮名は普通の仮名に改めた。
- 三 歴史的人名は原則としてすべて旧字体を使用した。ただし公刊された印刷物で用いられている新字体・略字体はそのまま用いた。
- 四 外国人教師名の綴りと仮名表記は原則として履歴書にしたがった。ただし、今日の表記とのずれが大きい場合に限り、見出しと解説文中の表記を一部改めた。
- 五 手書き原資料中、解説不可能な文字は□で示し、解説の不確かな文字はその文字を□で囲んだ。印刷が不鮮明な活字原資料の場合もこれに準じた。
- 六 原資料中、文字の使われ方に疑義があるものはその右側に「ママ」と記入し、明らかに誤植と思われる文字は訂正した。

### 見出し・出典

- 一 番号付きのゴシック体の見出しで、「」が付いているものは、原資料とおりの見出しであることを示す。
- 二 明朝体で見出しで、「」が付いているものは、編集者が設けた見出しであることを示す。
- 三 資料の出典は各資料の終りに（ ）付きで示した。ただし雑誌からの資料は、その出典を号・年・月にとどめた。

### 括弧

- 一 解説文中の〈 〉は作品名を表す。
- 二 「」は書名、雑誌名、新聞名を表す。
- 三 原資料中の〔 〕は編集者の注を表す。